

第42期 年次報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日

Mobile Space Frontier®



 三協フロンティア株式会社

JASDAQ
証券コード F9639

基本理念

目的（存在理由）

社会への貢献

わたしたちは
社会に役立ち、人々の心や暮らしを豊かにし、
よって社会に貢献することを目的とします。

基本的価値観（不変の主義）

1 開拓の精神

わたしたちは、失敗を恐れず、情熱を持って、
未開の地（新しい分野）に挑戦することを誇りとします。

2 不断の努力

わたしたちは、弛みない努力によって、
困難に打ち勝ち、目的の実現に至ることを喜びとします。

3 誠実な意志

わたしたちは、わたしたちを支える人々*に対し、
揺らぐことのない誠実な意志によって行動します。

*「わたしたちを支える人々」とはステークホルダー
（お客様、サプライヤー、株主・投資家、従業員とその家族など）を指します。

株主の皆様へ



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
ここに第42期（平成22年4月1日～平成23年3月31日）
年次報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当事業年度における日本経済は、企業収益の改善や設備投資の持ち直しなど緩やかな景気の回復が見受けられたものの、円高の影響や厳しい雇用環境が継続するなど、足踏み状態となりました。また、平成23年3月11日に発生した東日本大震災は甚大な被害を与え、今後の景気動向をより不透明にすることとなりました。

このような状況の中、応急仮設住宅の建設をはじめ、震災復興に必要な仮設建物の建設が社会的な要請として高まってきています。必要な時に必要なスペースを必要な設備とともに提供する——当社のユニットハウスは、このよ

うな有事の際にも役に立つと確信し、被災地および日本の復興に向け、全社一丸となって努力しているところです。

今後とも創業当時から受け継がれてきたフロンティアスピリッツ（開拓の精神）を原点に、社会に貢献する会社を目指し、失敗を恐れず情熱をもって活動していきます。

当事業年度（平成22年4月1日～平成23年3月31日）の業績について

当社では、ここ数年来、展示場やトランクルームを出店し、販路の拡大を図るとともに、本建築市場・不動産市場の開拓を継続してまいりました。今期は、このような取り組みが着実に実を結びつつあります。

ユニットハウスのレンタルにおきましては、建設業界向けの仮設レンタル市場において、シェア拡大を目指し受注促進を図る一方、イベント業や不動産業など期間限定で空間を必要とするお客様への受注活動も積極的に推進し、出荷棟数が前年同期比13%増となりました。さらにトランクルームを25店舗出店するなど売上拡充に努めましたが、建設業界向けの仮設レンタル市場での、競争激化に伴う受注単価の下落は予想以上に厳しく、当事業年度のレンタル料収入は9,755百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

ユニットハウスの販売におきましては、当社直営の展示場を14店舗出店するとともに、建機リース会社などの代理店やホームセンター等と提携し、新たに50ヶ所以上の提携先の展示場に当社のユニットハウスを展示するなど、販売チャネルの拡充に努めました。その結果、当事業年度の製品売

上高は5,327百万円（前年同期比17.4%増）となりました。

また、東日本大震災の影響により、レンタル・販売物件に延期や中止が相次いだことや、応急仮設住宅建設への対応のため、一時的にユニットハウスの出荷を制限したこと、今期の業績に影響を与えることとなりました。

これらの結果、ユニットハウス事業の当事業年度売上高は15,082百万円（前年同期比4.5%増）となりました。一方、立体駐車装置事業の当事業年度売上高は299百万円（前年同期比38.7%減）となり、当事業年度の売上高は15,381百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

利益面におきましては、全社的に諸経費の削減と効率化に取り組みましたが、営業利益502百万円（前年同期比11.5%減）、経常利益454百万円（前年同期比10.3%減）となりました。また、東日本大震災の津波被害で喪失したレンタル資産の除却損を特別損失に計上した結果、当期純利益は170百万円（前年同期比18.7%減）となりました。

今後とも、リユース可能なユニットハウスの特長を活かして、期間限定で空間を必要とするニーズを開拓し、業績の拡大に努めてまいります。

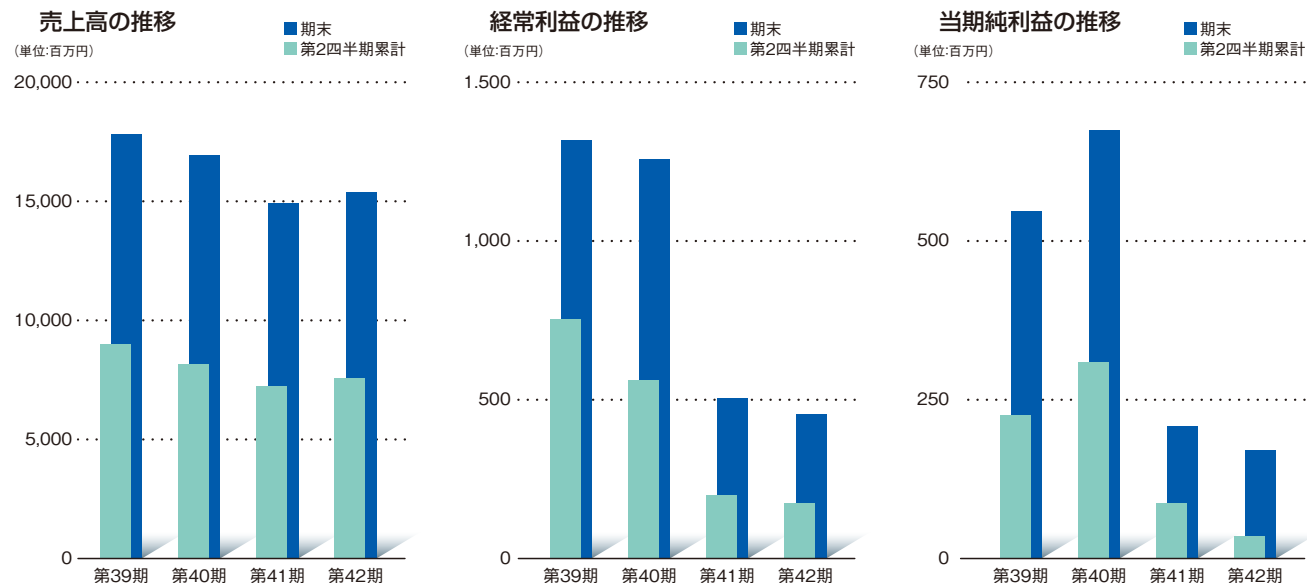
株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導・鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成23年6月

代表取締役社長 長妻貴嗣

業績ハイライト

区分 \ 期別	第38期 (平成19年3月期)	第39期 (平成20年3月期)	第40期 (平成21年3月期)	第41期 (平成22年3月期)	第42期 (平成23年3月期)
売上高(百万円)	17,446	17,840	16,926	14,916	15,381
経常利益(百万円)	1,260	1,317	1,259	506	454
当期純利益(百万円)	668	547	674	209	170
1株当たり当期純利益(円)	29.90	24.52	30.27	9.49	7.72
総資産(百万円)	28,123	28,260	26,795	25,801	26,290
純資産(百万円)	16,004	16,266	16,611	16,555	16,531
1株当たり純資産(円)	716.25	727.61	751.55	748.87	747.87



免責条項
本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化など様々な要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

各事業の概況

ユニットハウスのレンタル

1日からでもレンタル可能。
建設現場からイベント、仮設住宅まで、
必要な期間に最適な空間を提供します。

建設現場向けユニットハウスのレンタルについては、稼働率向上を目指し、受注活動を積極的に推進し、出荷棟数は前年より13%増加しましたが、同業他社との競争激化により、受注単価は大幅に下落しました。

その結果、今期のレンタル料収入は9,393百万円(前年同期比0.1%減)と依然として厳しい結果となりました。

今後とも、建設現場向けのシェア拡大と新たなレンタル需要の創出を目指し、新規顧客への営業を強化していきます。



ユニットハウスの販売

オフィス、店舗、教育・保育施設、倉庫など
全国のさまざまなシーンで
ユニットハウスが活躍しています。

前期に引き続き、展示場の出店を推進し、販路の拡大を図りました。

また、キャンペーンの実施、社員教育の充実に注力するなど、店舗での販売力向上に努めました。

その結果、販売収入は5,327百万円(前年同期比17.4%増)となりました。

今後とも市場ニーズに合わせた製品の開発に取り組むとともに、展示場での販売力の強化や新規出店による販路拡大に努めていきます。



Topic 1 空調・衛生機器付きユニットハウスを発売

今期、ユニットハウスにエアコンやトイレを組み込んだ新たなハウスを開発し、レンタルを開始しました。

当社は、ユニットハウスを通して最適な空間をお客様に提供することを目指しています。ユニットハウスをご利用いただく際は、ハウスのみならず、空調機器や衛生設備などさまざまな機能が必要になります。こうした機能面へのお客様のニーズにお応えするため、今期、新たなユニットハウスの形態として、

室外機を上空に設置できるエアコンパネルを開発



従来は、地上に室外機を置くスペースが必要でしたが、エアコンパネルを使うとスペースをとり、見た目もすっきり。パネルを内側から外し、室内でエアコンの保守点検ができるため、メンテナンスも簡単でより安全です。



室外機を地上に設置していた従来のエアコン

エアコンパネルとトイレブースを開発し、レンタルを開始しました。当製品は、設置の容易さやメンテナンスのしやすさで多くのお客様に好評をいただいています。

今後ともユニットハウスの付加価値の向上と、より快適な空間の提供を目指して、さらなる取り組みを進めていきます。

トイレブース付きユニットハウスで設置・移設が容易に



工場内でトイレを組み込むため、現場での工事・施工が少なく済みます。設置後も、ユニットハウスごと移設できるので、イベントなどで活躍しています。



イベントや仮設会場などでは対応しにくかった従来のトイレカプセル

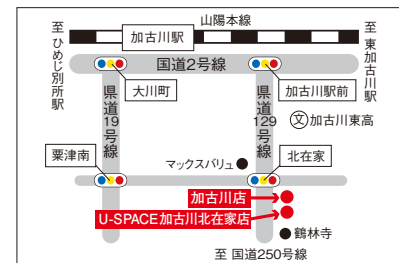
Topic 2 今期、新たに39店舗をオープン

当社は、ユニットハウスを販売する展示場およびトランクルームのレンタルサービスを提供するU-SPACEを全国展開しています。今期、新たにオープンした39店舗の中から展示場とトランクルームの複合店である加古川店・U-SPACE加古川北在家店を紹介します。

加古川店・U-SPACE加古川北在家店

兵庫県内、5店舗目のユニットハウス展示場として2011年1月に加古川店がオープンしました。加古川店には兵庫県では初めてとなる屋内型のトランクルームが併設され、U-SPACE加古川北在家店として、94BOXのトランクルームを貸し出しています。

当店は、スーパーマーケットがすぐ近くにあり、人や車の往来が多い好立地に所在。事務所の建屋には、当社のユニットハウスQuoが使用されており、加古川、姫路方面のモデルルームとしても好評です。



加古川店(展示場): TEL 0120-865-390
U-SPACE加古川北在家店(トランクルーム): TEL 0120-471-383



加古川店(展示場)



U-SPACE加古川北在家店(トランクルーム)

Topic 3 「住まいの耐震博覧会2011」に出展

ユニットハウス「LCX2.0(オープンデッキ付き)」の実物を展示。多数の皆様、ユニットハウスの「快適空間」を体感いただきました。

2011年2月12日・13日、東京ビッグサイトで開催された「住まいの耐震博覧会2011」。雪が舞うあいにくの天候にも関わらず、延べ27,000名もの方々が来場されました。

ユニットハウスは、その構造上、強度を維持するためのブレース(筋交い)を必要とせず、前面側面ともに壁をガラス張りにできるという特長があります。その特長を体感いただくために、ユニットハウス「LCX2.0(オープンデッキ付き)」の実物を展示。工務店様・施主様をはじめ、ご来場いただいた350組の皆様、ユニットハウスのデザイン性や開放的な空間を紹介しました。



財務諸表

貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

資産	第42期末 (平成23年3月31日)	第41期末 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産	6,507,660	6,063,052
現金及び預金	1,374,253	1,287,463
受取手形	755,359	635,202
営業未収入金	1,976,834	2,046,978
売掛金	901,315	1,003,569
棚卸資産	1,077,002	721,819
繰延税金資産	76,817	73,038
その他	378,377	347,500
貸倒引当金	△ 32,300	△ 52,520
固定資産	19,782,655	19,738,364
有形固定資産	18,537,967	18,552,207
Point 1 レンタル資産	8,572,544	8,921,391
建物	1,010,619	1,049,751
土地	8,189,748	8,188,439
その他	765,055	392,625
無形固定資産	122,394	116,817
投資その他の資産	1,122,292	1,069,339
繰延税金資産	330,368	280,504
その他	799,624	799,034
貸倒引当金	△ 7,700	△ 10,200
資産合計	26,290,315	25,801,416

Point 1 レンタル資産

レンタル用ユニットハウスへの新規投資の抑制により、レンタル資産は8,572百万円(前期比3.9%減)となりました。

(単位:千円)

負債	第42期末 (平成23年3月31日)	第41期末 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債	6,272,966	7,732,800
支払手形	186,292	99,936
買掛金	1,917,431	1,292,251
短期借入金	2,158,000	4,448,000
未払費用	1,413,391	1,352,887
未払法人税等	166,700	171,000
賞与引当金	111,600	108,930
その他	319,551	259,795
固定負債	3,485,406	1,512,818
長期借入金	2,812,000	1,020,000
退職給付引当金	358,720	302,914
役員退職慰労引当金	143,095	134,195
その他	171,590	55,707
負債合計	9,758,373	9,245,619
純資産の部		
株主資本	16,509,440	16,532,525
資本金	1,545,450	1,545,450
資本剰余金	2,698,150	2,698,150
利益剰余金	12,579,474	12,602,273
自己株式	△ 313,633	△ 313,347
評価・換算差額等	△ 949	△ 700
その他有価証券評価差額金	△ 949	△ 700
新株予約権	23,452	23,972
純資産合計	16,531,942	16,555,797
負債・純資産合計	26,290,315	25,801,416

損益計算書(要旨)

(単位:千円)

	第42期 (自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)	第41期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日)
Point 2 売上高	15,381,967	14,916,729
Point 3 売上原価	9,912,043	9,241,253
売上総利益	5,469,923	5,675,475
販売費及び一般管理費	4,967,896	5,108,387
営業利益	502,027	567,088
営業外収益	64,120	56,360
営業外費用	112,084	117,039
経常利益	454,063	506,408
特別利益	22,529	8,109
Point 4 特別損失	81,895	69,121
税引前当期純利益	394,697	445,397
法人税等	224,339	235,966
当期純利益	170,357	209,431

Point 2 売上高

販路の拡大影響や小型ハウス等の販売が好調だったため、売上高は前年同期比465百万円増加し15,381百万円となりました。

Point 3 売上原価

レンタル出荷の増加に伴い、材料費等の支出が増加したため、原価率は64.4%(前年同期比2.5%ポイント増)となりました。

Point 4 特別損失

屋内型トランクルーム、展示販売場の資産除去債務の適用に伴い46百万円を特別損失として計上したため、特別損失は81百万円(前年同期比18.5%増)となりました。

株主資本等変動計算書

(自平成22年4月1日 至平成23年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本								評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計		
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金				
		資本準備金	資本剰余金合計	利益準備金	固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金						利益剰余金合計	
平成22年3月31日 残高	1,545,450	2,698,150	2,698,150	177,680	8,569	12,044,000	372,024	12,602,273	△313,347	16,532,525	△700	△700	23,972	16,555,797
事業年度中の変動額														
固定資産圧縮積立金の取崩し					△1,763		1,763	0		0			0	0
別途積立金の積立て								0		0			0	0
剰余金の配当							△82,783	△82,783		△82,783			0	△82,783
剰余金の配当(中間配当)							△110,372	△110,372		△110,372			0	△110,372
当期純利益							170,357	170,357		170,357			0	170,357
自己株式の取得								0	△286	△286			0	△286
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)								0		0	△249	△249	△520	△769
事業年度中の変動額合計	0	0	0	0	△1,763	0	△21,035	△22,798	△286	△23,085	△249	△249	△520	△23,855
平成23年3月31日 残高	1,545,450	2,698,150	2,698,150	177,680	6,805	12,044,000	350,988	12,579,474	△313,633	16,509,440	△949	△949	23,452	16,531,942

企業の概要 (平成23年6月21日現在)

商号	三協フロンティア株式会社	
資本金	15億4,545万円	
代表者	代表取締役社長 長妻 貴嗣	
設立	昭和44年12月5日	
事業内容	1. ユニットハウスの製造・販売・レンタル 2. トランクルームの製造・販売・レンタル 3. 立体式駐車装置の製造・販売・レンタル	
役員	取締役会長	長妻 和男
	代表取締役社長	長妻 貴嗣
	常務取締役	端山 秀人
	取締役執行役員	小嶋 俊一
	取締役執行役員	三戸 茂夫
	取締役執行役員	小島 豊
	常勤監査役	石原 幸夫
	監査役	上田 俊郎
	監査役	重田 龍男
	監査役	山崎 直人

特定建設業許可 国土交通大臣許可(特-20)第18154号
一級建築士事務所登録 千葉県知事登録1-0704-1483号

株式の状況 (平成23年3月31日現在)

会社が発行する株式の総数	60,000,000株
発行済株式の総数	23,356,800株
1単元の株式の数	1,000株
株主数	1,250名 (平成22年9月末比152名増)

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(有)和幸興産	9,733	41.67
長妻 貴嗣	3,314	14.19
長妻 和男	2,148	9.20
三協フロンティア従業員持株会	470	2.02
個人株主	337	1.44
三菱UFJ信託銀行(株)	200	0.86
(株)千葉銀行	195	0.84
長妻 幸枝	180	0.77
日本生命保険相互会社	162	0.70
大阪証券金融株式会社	155	0.66

※当社は自己株式を1,282千株保有していますが、上記大株主からは除外しています。

株主メモ

事業年度
4月1日～翌年3月31日

定時株主総会
毎年6月

期末配当金受領株主確定日
3月31日

中間配当金受領株主確定日
9月30日

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

公告の方法
電子公告(URL <http://www.sankyofrontier.com/>)
※ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。

上場証券取引所
大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)

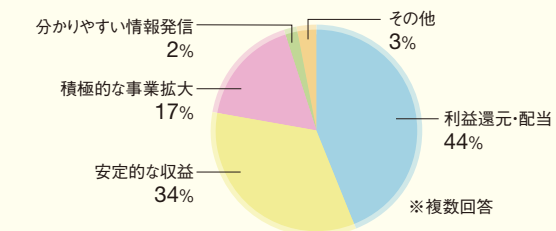
(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。
- 平成22年4月1日付のジャスダック証券取引所と大阪証券取引所の合併により、当社普通株式は大阪証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場されております。

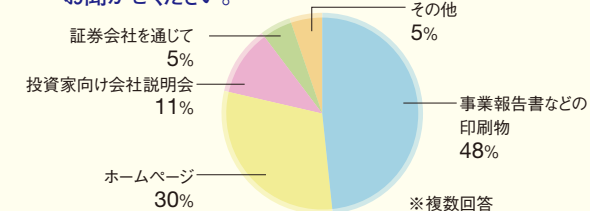
アンケート結果のご報告

「第42期中間報告書」で実施した株主様アンケートの集計結果をご報告します。150名ほどの株主の皆様からご回答をいただきました。厚く御礼申し上げます。当社では株主の皆様からいただいたご意見を真摯に受け止め、今後の経営方針やIR活動に反映させていただきたいと考えております。

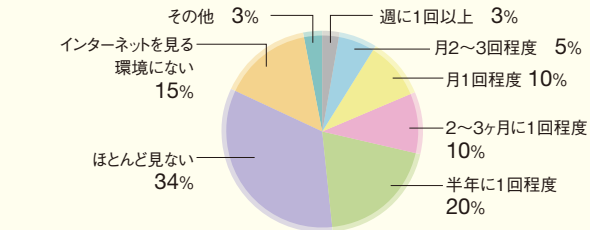
Q1 今後、当社に望まれることについてお聞かせください。



Q2 今後、当社のIR情報提供手段として望まれるものをお聞かせください。



Q3 当社のホームページをどの程度ご覧になりますか?



当社ホームページのご案内

今後とも、事業報告書やホームページの充実を図り、株主の皆様方へ分かりやすい情報提供を心がけてまいります。

<http://www.sankyofrontier.com/>

東日本大震災

復興への取り組み

このたびの東日本大震災により、被害を受けられた皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。

被災された方々の一日も早い復旧・復興と、皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。

当社では、一日も早い復興に向けて、宮城、岩手、福島、千葉の各県で応急仮設住宅を建設しております。

各県に建設した応急仮設住宅をご紹介します。



宮城県塩竈市の応急仮設住宅



岩手県大槌町の吉里吉里仮設団地



福島市笹谷地区の応急仮設住宅



千葉県旭市横根地区の応急仮設住宅